

# 東白川村 美しい村づくり 委員会

## 第33回

○場 所：ふれあいサロン

○時 期：平成31年2月27日 19:00~21:00

○参加者：委員5名 一般参加5名 専門家2名 行政3名

### 第1 視察の共有 豊田市「おいでん・山村センター」、旭地区について

- 1 視察の様子を写真スライドにて説明（事務局 樋口）
- 2 視察参加者の感想

#### （1）居石さん

- ・公と民の連携がされていた。
- ・豊田市の方の SNS 発信力がすごい。

#### （2）笹俣さん

- ・10年もの地域活性化の活動の履歴がり、人が豊かであった。
- ・公と民の連携がされていた。
- ・強力なキーマンの存在。
- ・人のつながりの重要性。

#### （3）小林さん

- ・経済至上主義の中で若者が疲弊している現在、田舎の役割がある。
- ・ちんちゃん亭では、お客をちんちゃん亭でのWS主催者につなげている。

#### （4）高橋さん

- ・農業は地域存続の手段である。
- ・関係人口をつくることは、地域が動いていることを可視化することでもある。

(5) 村雲さん

- ・強力なキーマンがいる。
- ・地域事業の肝「3S」とは、スロー・シンプル・スモール。  
→ 元足助町役場助役の小澤氏談

(6) 樋口（事務局）

- ・地域のキーマン像は、  
「決断する人」「リスクを負う人」「一人も見捨てない人」
- ・ソーシャルキャピタルが豊かになれば、そこからいろんな事が生まれる。

第2 雑談ワークショップ「私の近況報告」

委員会では、毎回「私の近況報告」を行うこととしています。

1 居石さん

- ・book「森ではたらく」を読み、カフォンWSの記事と出会った。  
木の工作をしたいと思った。

2 笹俣さん

- ・自然農の勉強会に参加した。あと5年でミツバチがいなくなる話題が  
でた。それに関連した映画の上映会をしたい。

3 小林さん

- ・白川町黒川で行われた稲作勉強会に参加した。そこで、有機農法の効果  
を伺った。5年～10年有機農法を続ければ、慣行農法より良い結果が  
できると伺った。（収量、草、経費、環境のあらゆる面で。）
- ・恵那市の高校との6次産業化取組みと連携できそう。  
※例）恵那南高校×川上屋×恵那市の栗の商品化

4 高橋さん

- ・加茂管内の移住定住担当者交流会に参加した。（川辺町）  
川辺町下麻生地区では、自治区と専門家と行政が連携して空き家利活  
用が進んでいた。是非参考にしていきたい。

## 5 長谷川さん

- ・3/10（日）に自宅で手づくりイベントを行います！  
何でも、自分でやることに意義があると思っている。
- ・家の解体を手伝っています。
- ・地域の方とコミュニケーションが深まっています。
- ・「竹」がいい！無料で刈らせてもらうつもりが、お小遣いまでもらえてしまう。

## 6 吉田さん

- ・上映会映画「よみがえれいのち」の分科会活動をやっています。
- ・永井さんと「ハンドマッサージ（ボランティア）×作業所えがお」行います。

## 第3 「分科会」の近況報告

現在、委員会活動は分科会方式を採用しています。

分科会の活動は、自由に楽しく！輪を広げる！ことを大切に活動していきます。4つの分科会は以下の4つです。

- ・「上校舎」「関係人口」「上映会」「手づくりイベント」・

### 1 「上映会」について

#### (1) 主催者の小林裕幸さんからの報告

- ・イベント名  
○映画「つ・む・ぐ」 & 「麻てらす」上映会&村をてらす懇親会
- ・2月23日開催
- ・(株)ふるさと企画協賛
- ・東白川村後援
- ・スタッフ 永井祐子さん  
渡辺香代さん  
村雲和裕さん
- ・有償ボランティア形式

- ・チラシ 300 枚、CATV、有線放送、SNS で告知  
→有線放送の告知力が弱い印象
- ・参加者：総数 29 名（村内 17 人）
- ・参加された年配の方から、「生死について考える機会が欲しい」との声があった。
- ・揖斐川町春日地区の「麻処さあさ」が出店し、新しいツナガリが生まれた。
- ・ふるさと企画と協賛したことで、村の魅力が伝わったと実感した。

## 2 「関係人口」について

### (1) リーダーの村雲和裕さんの報告

- ・話し合いを行いました。
- ・次回イベント「キックオフミーティング」を企画しました。
- ・3/9に「森のようちえん」イベントが東白川村で開催されます。

## 第4 専門家による「建物再生」の勉強会

「みのりの里東白川」の上校舎利用案があり、耐震診断費用と耐震化費用を知るため、地域おこし協力隊の志村さんの知人、中村出氏に相談し、上校舎の事前調査が決定しました。そこで、静山荘も一緒に事前調査を実施しました。専門家は「株式会社ヤマムラ」中村出氏と「川端建築計画」川端眞氏です。

また、調査の当日に委員会にて専門家のお二人から、1時間ほどスライドを使ったレクチャーを受けることとなりました。

### 1 「株式会社ヤマムラ」中村出氏のレクチャー内容

- (1) 東京都台東区下谷の銭湯建築再生
- (2) これまでの活動と経緯
- (3) まとめ（未来への思い）

### 2 「川端建築計画」川端眞氏のレクチャー内容

- (1) 伝統工法による耐震補強（オートスペクトル）
- (2) 「木」良いところ（マテリアルとして）

- (3) 中津川市加子母「明治座」の伝統工法による耐震補強
- (4) 上校舎について
- (5) 静山荘について

### 3 質問&意見

- (1) まずは「そうじ」から始めると良い。(川端氏)
- (2) 伝統工法による耐震補強の経費は安価。(川端氏)  
上校舎の地盤は固いため、さらに耐震補強も安価になる。
- (3) オリジナル(原型)にこだわるのが大切。  
そうすれば、建築の美しさを損なわない。(川端氏)
- (4) 上校舎は増築部分を解体したほうが良い。(川端氏)
- (5) 上校舎は洋風の趣があり魅力ある建築物である。(川端氏)  
「まちに開く場」として大きな可能性を秘めている。
- (6) 静山荘の耐震補強は、ほぼ現存状態で良いと思う。(川端氏)  
合板材等の衣装部分の交換が必要である。
- (7) 建築再生事業は、少しずつ進めていくのがポイント。(中村氏)
- (8) 木造建築は日本の魅力と歴史がつまっている。(中村氏)
- (9) 木造建築には、職人の手で再生が可能な点が魅力である。(中村氏)

### 4 上校舎の今後の手順(専門家のアドバイス)

- (1) 行政関連の荷物整理
- (2) そうじ(多様な人を巻き込むイベント)
- (3) 図面の搜索
- (4) 上校舎の写真収集(オリジナルへの復元資料)
- (5) 耐震診断

### 第5 次回について

- 1 委員会 3月18日(水) 19時~  
(会場) ふれあいサロン  
(内容) 私の近況報告、分科会報告

# 第33回 美しい村づくり委員会

2019.2.27 ①

## 私の近況報告

- ・ **すえこ** : book「森に生きる」  
カフエWS  
「木」の工作
- ・ **高橋さん** : 移住定住勉強会 (川口)  
・ 自治区と空家利活用  
↳ 参考にしたい♡
- ・ **さきまさん** : 自然農の勉強会  
あと5年でミツバチが  
いなくなる!  
「上映会」したい!
- ・ **ゆりさん** : イベント取組み中  
自分でやろ!! + 竹...と!!  
家の解体予定の時、  
住民の方と仲良くなった!
- ・ **小林さん** : 黒川で稲作勉強会  
有機農法 → 持続可能な  
5年~10年  
量up・草少なり。  
・ 6次産業化: 恵那市の取組み  
連携しよう!
- ・ **さとうさん** [映画] 分科会活動やって、  
「おたけいんち」  
・ 上映会開催準備にます!  
・ 「ハンドマッサージ」x 作業所さん  
(ポラリス)

## 分科会近況報告

3/9 森林のようちん イベントやりますー!

2019.2.27 ②

- ・ 上映会開催しました!
  - ・ 参加者 : 1作品 12名  
2作品 8名  
(総) 29名
  - ・ スタッフ : 有償ボランティア
  - ・ 意見 「森でさ」...新しい視点を得た  
良い映画だった。  
イベントは、行政区域を越える!
  - ・ 麻と祭り...日本の原風景を!  
春日地区から「麻畑をさす」並出店!  
・ 素敵なつばがツ
  - ・ 黒川村の魅力を  
発信したい!!
- ### 関係案内所
- ・ チラシ作りました。
  - ・ キックオフミーティング
- 3/18(月) 次回

